

## 1.リカレントプログラムの概要

プログラム名	地域創生イノベーター育成プログラム
プログラムの概要・特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>わが国の国策として強く謳われている「地方創生」に貢献できる人材に必要な知識・素養や技術を修得することを目的としたプログラム</li> <li>西条市（愛媛大学地域協働センター西条）にて対面およびリモートのハイブリット開講</li> <li>Society5.0/DX、CN/グリーンイノベーションなど、ビジネスや行政、社会活動を抜本的に転換していく必要のある課題に対応し、「ソーシャルイノベーター」の要素を有する「地域創生イノベーター」として地方創生に貢献できる人材を生み出すことを目的</li> </ul>
主な対象者・受講定員	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方創生に関する活動を実践・経験がある、またはこれから行う意思がある者（令和4年4月1日時点で22歳以上）受講定員：30名</li> </ul>
実施期間	2022年9月24日～2023年2月18日
受講時間	72時間
受講費用	3万円 （令和4年度は無料）



## 2.プログラムに参加した受講生の声

多彩な講師陣から多くの学びや今後の人的ネットワークを構築を得る良い機会となった。



地域創生の必要性の背景から具体的な手法に至るまで一貫した知識を身につけることができた。



「合意形成技術」が、特に新鮮に感じた。「ファシリテーション」は、ぜひとも身につけたい技術。



## 3.プログラムの特徴的な取組

提供価値の認識	<p><b>【地域貢献型大学としてのミッション】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大学憲章「地域とともに輝く大学」</li> <li>中期目標「持続可能な地域共創社会の実現」</li> <li>中期計画「全世代活躍社会の構築につながるリカレント教育の推進に向けて社会情勢と地域ニーズに応じた人材育成プログラムを開発」</li> </ul>
方針策定・合意形成	<p><b>【地域のニーズからプログラムの開発方針を決定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域活性化・連携・研究の拠点となる地域協働センター西条を中心に、地域のニーズを把握。その結果、U・I・Jターンの就職者や企業等の中堅層を対象とした人材育成プログラム（実質型地域ハブ人材の養成）を開発する方針が決定</li> </ul>
体制構築	<p><b>【学内連携と地域ネットワークを生かした体制を構築】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全学組織「地域専門人材育成・リカレント教育支援センター」の専任教員（地方創生業務に従事し、人脈や経験を有する）による全面的な支援</li> <li>同専任教員の過去の人脈と実施運営組織である地域協働センターに駐在する地域連携コーディネーターや兼任教員の諸活動で得た人的繋がりにより、比較的短時間での地域ネットワークの構築が実現</li> </ul>
ニーズ把握	<p><b>【地域ネットワークを活かした効率的な情報収集】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>構築した地域ネットワークにより、地域のステークホルダーとの迅速な連携が可能</li> <li>専任教員が予め実施していた地域のニーズ調査により、今回のプログラムのテーマとなる「ソーシャルイノベーションスキル」の重要性が判明</li> </ul>
学内外のリソース確保	<p><b>【社会と連携した持続可能な支援体制と多様な講義人材】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対失業者、対転職者の就職支援に関しては、労働局・県の各部署と連携済みであり、今後も継続して同様の体制を維持</li> <li>社会の第一線で活躍する若手・中堅の外部講演者を活用したことで、近い世代による親近感、最先端の講義、実務家・実践家ならではの現場で役立つ内容等あらゆる面で効果を発揮</li> <li>社会実装と直結した意識の高い学内教員を担当に配置</li> </ul>